



第123号  
発行

〒970-8003  
いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地  
TEL (0246) 23-5311  
FAX (0246) 23-5312  
はまぎく荘新聞編集委員会  
HP <http://hamagiku.i-fukuin.com>  
E-mail: [kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp](mailto:kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp)

● 紙面紹介 ●

- 1面 共生共感
- 2面 今年度事業計画  
支援 男子棟/女子棟  
医務/栄養
- 3面 令和5年度行事計画  
作業班活動紹介  
利用者の抱負
- 4面 はまぎく荘のうごき  
編集後記

共生共感

所長 植原明美

令和五年度が始まりました。今年はどうな年になるのかと期待と不安が混じる気持ちで、四月を毎年送っていました。が、ここ三年は不安の気持ちが大きく、頭の中はいつも新型コロナウイルスへの危機感がかりでした。昨年の危機感はクラスター発生となり三週間近くは先の見えないトンネルにいるようでした。今年の五月の連休明けには新型コロナウイルスはインフルエンザと同じ対応になるとの政府の発表に、また違う危機感を抱いた方もいると思います。はまぎく荘はボランティア活動なども再開しており、この約三年の状況を検証しながら感染前の状況に戻しているところ。感染対策と

いって利用者にはとても窮屈な思いの三年だったと思います。旅行に行きたいとの声が多く聞かれ、家族も遠慮なく来訪できる生活に早く戻したいと思います。

市の令和五年度の当初予算が四月に回覧された広報に記載されてました。福祉ほどの程度の予算なのか、用語説明をみると「高齢者障がい者・児童などの福祉・保育所の運営などにつかわれるお金」は「民生費」の項目で、歳出の三七・一%で九項目のうち一番の割合を占めてました。この数字をみて改めて、この仕事の重みを感じました。はまぎく荘は重度化・高齢化が進む中でどのように地域移行を進めていくか、いつも大きな課題となり、足踏み状態で、やきもきすることが多いです。

市が新たに策定した内容は、とても共感する内容で、全文を載せられないのが残念です。【人づくり日本一のまちを目指して】と掲げており、この言葉をはまぎく荘に置き換えて、この一年を進んでいきたいと考えました。行動することが何よりと考え、利用

者・職員がみんながいつも笑顔で過ごせることを目指します。また市が【次世代を育てる】ために、色々な事業を掲げています。はまぎく荘は大学等の教育実習生を、次世代の育成の一コマに関われればと積極的に受けております。何より利用者は実習生が大好きで取り合いになるほどの人気者です。実習をきっかけに福祉の道を選んでいただけただけからこれ最高ですが、なかなか難しいのも現状です。

雑談ですが、実家を整理した際に、茶の間にあった柱時計を我が家を持ってきました。突然ポーン・ポーンと鳴りだし、びっくりしたのと同時にタイムスリップしたように、一瞬実家の茶の間にいる感覚になりました。

五感を感じた一瞬でした。この感覚は良いものごとで感じたいと改めて思いました。



# 今年度事業計画



私たちはまぎく荘職員は、障がい者一人ひとりの尊厳を重んじ、利用者本位の考えに立って、利用者の自立を支援すると共に、良き支援者として専門的役割を自覚し使命を果たすことを基本理念としています。

## 《支援》

利用者一人ひとりの思いや自主性を大切にし、楽しく安全でその人らしい生活が送れるよう支援します。また、施設行事を通して家族とのふれあいの場を設けます。人権を尊重し、意思決定支援と地域移行に向けた取り組みを行います。創作活動を通して表現する力の発信に努めます。

## 《職員構成》

所長・次長・課長・サービス管理責任者・支援員十一人・看護師・栄養士・主事・パート九名の二十七名です。

## 《施設整備》

みはま体育館バスケットゴール撤去工事を行います。男女棟木製扉取付工事を行います。女子棟裏の道路陥没補修工

事を行います。

計画的に設備改修を行い、利用者の生活の場としての安全・安心で快適な住環境を提

## 《防災関係》

火災・地震・豪雨・土砂災害を想定した避難訓練を毎月行います。ライフラインが断たれた場合を想定して非常食や防災備品の確認管理、非常食の炊き出し訓練等も行います。

日頃から周囲環境に対するリスクの点検・確認を行います。

## 《新型コロナウイルス対策》

今まで通り感染対策を行いつつも、家族や地域と楽しみながら交流を図れる活動を行います。

## 支援より。

### 男子棟

新年度を迎え、気持ちも顔ぶれも新しくなりました。変化を味方にしながらも、変わらず利用者の皆さんの声に耳を傾け、共に感じることでできる職員でありたいと思います。担当が一番の理解者となることを目指し、ひとつでも、ひとつと言わず欲張って二つ三つ。よりたくさんの方の笑顔を引き出せるよう支援してまいります。そのために求められるのは、ずばり突破力と推進力。タレント揃いの男子棟へ、いつでもようこそ！

### 女子棟

ここ数年は感染対策の為、利用者さんに我慢や窮屈な思いをたくさんさせてしまいました。五月にはコロナウイルスが5類に引き下げられ、世間的にも日常が戻ってきているような雰囲気です。今年度は感染対策を継続しながら、外出活動や行事などで利用者さんと一緒に楽しい思い出をたくさん作りたいと思っております。

利用者さんの声や想いに耳を傾け、一人ひとりの気持ち豊かに、そして穏やかな日常を過ごせるよう、職員一丸となって支援してまいりますのでよろしくお願ひします。

## 医務より。

新型コロナウイルス感染症に対する国の指針の変化や、年度替わりで感染リスクが高まる場面が増えてきている現状に、まだまだ注意が必要です。

しかし、今年度は以前のような日常を取り戻そうと方向転換していく方針で、制限されてきたことが少しずつできるようにと、職員が一丸となって体制を整えています。

安心して生活していけるよう気を緩めずより一層の、感染予防策を呼びかけ徹底して参りたいと思います。

## 栄養より。

令和五年度は、コロナによる制限が緩和され、生活の質の向上に期待が出来ます。

給食では、食の満足度が得られるように委託業者の栄養士と連携し、食事の充実や日々の食事も「おいしそう!」と思わず笑みがこぼれるような食事の提供に努めていきたいと思ひます。

また、非常災害時に備え個々に合わせた備蓄品を準備し対応します。健康に配慮し、食事の楽しみ大切さを一番に食事の提供を行います。



# 令和5年度行事計画



- 4月…花見
- 5月…県障がい者体育大会  
所内研修 (AED)
- 6月…遠足
- 8月…夏祭り  

- 10月…芋煮会
- 11月…所内研修 (AED)
- 12月…クリスマス会  
忘年会  

- 2月…生活習慣病予防健診  
所内研修 (AED)
- 3月…家族との四者面談
- 他…グループ旅行 (市内)
- 毎月…誕生会・外出活動  
創作教室・避難訓練  
自治会・料理教室  
ミュージックケア

## 作業班活動紹介

### 環境班

今年度、環境班のチーフになりました、中根です。はまぎく荘に来て半年ほどで頼りないところが多々見られると思いますが、環境班を通して利用者さんの生活をより良くするお手伝いをできればと考えております。

昨年はビニールハウス内の土壌が悪く野菜を育てるまで行けなかったのが今年度は、改善に努め、ビニールハウス内で野菜などの植物を育てられるようにしたいと思います。尚、アドバイスやアイデアは随時受付中です。

### 工芸1班

工芸1班では、音楽を聴きながら、ぬり絵・葉箱折り・マジックペン習字などの活動を毎月の計画に沿って行っています。その他にも、ノートに文字書きの練習をしたり、好きな雑誌を持参して見たり、紙ちぎりをしたりなどの各自の好きな作業もしています。毎月の計画のぬり絵では足りずに、自分のぬり絵ノートを持参し、微笑みながらぬり絵される利用者もいます。今年度も、利用者一人一人に合わせた活動を提供していきたいです。

### 工芸2班

工芸2班は、利用者さんそれぞれのペースで、音楽鑑賞、動画鑑賞、運動等を行なっています。流れる音楽や動画に反応して静かになったり、元気になったりと色々な反応を見せたり、簡単な運動で身体をリラックスさせたりと活動もよりどりみどりでです。どんどん新しい刺激を提供できるようにしたいと思いますので、お勧めの音楽、動画、体操、その他意見などありましたら情報提供お願いします。

## 令和5年度利用者の抱負



**金子俊哉さん**  
今年も男子棟をピカピカに掃除頑張ります



**中野康夫さん**  
文字書きするよ



**長谷川真弓さん**  
皆と買い物行きたいな



**立野淳子さん**  
今年も頑張るよ新しい靴買った



Movement of Hamagiku-so

はまぎく荘のうごき



入所利用者

阿部 努さん



四月一日 付けて阿部 努さんが入所となりました。アニ

メが好きで、工作など細かい作業が得意だと聞いています。芸術肌の方が多くはまぎく荘なので、阿部さんのアトナ才能とまだ見ぬ新しい一面を皆で発見していけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします！



新人・異動 職員紹介



カナン村より異動 次長 遠藤 哲彦

四月にカナン村から異動してきました遠藤哲彦です。はまぎく荘勤務は初めてです。早く利用者様の顔と名前を覚えて、楽しい施設生活を送れるように支援していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。



看護師 鈴木 友子

この度、昨年度二月からはまぎく荘の医務へ入職致しました、鈴木友子です。これまでは褥瘡などの創傷管理やスキンケア、フットケア指導士として透析患者さんの足病変の看護に関わって参りました。入所者さんにとっては、生活の場である施設での仕事は、病院の勤務が長かった自分にとっては少し、いや正直かなり戸惑いがありましたがこの場所での役割を全うし今度は皆様の為に微力ながら支えとなるよう努力して参

りますので、よろしくお願いいたします。



支援員 高田 創太

令和五年五月よりはまぎく荘に入職しました。高田創太です。以前は身体障がい者施設で援助員として働いていました。今までの知識と経験を活かして、利用者様の人生に貢献できるように頑張りたいと思います。また、常に誰かのために働くことを意識して仕事に従事していきます。今後ともよろしくお願い致します。



支援員 竹山 和徳

初めまして。令和五年二月に入職した竹山和徳(たけやまかずのり)と申します。出身は、郡山市です。五十歳をこえて福祉の仕事を始めました。障がい者施設での仕事は初めてで不安がありました。先輩支援員のサポートやフレンドリーな利用者の皆様のおかげもあり、毎日、楽しく仕事をしています。はまぎく荘にある石碑「共生共感」にもあるように、利用者の皆

様と「共に生き、共に感じる」ことを念頭に、私と会うことが楽しみになるような支援員を目指したいと思っております。



支援員 草野 奈々美

四月から入職しました草野奈々美と申します。小学生五年までデイズニーで有名な浦安市に住んでいましたが、それ以降はずっといわき市に住んでいます！ゲームやアニメ、ドラマ、映画等が好きで最近EXILE系ハマっています。



支援員 相田 美佐江

大学にて心理について学んだため、日常生活の支援だけでなく心の支援も行えたらなと考えております。仕事そのものが初めてであり、様々な面でご迷惑をおかけするかもしれないませんが、利用者さんが楽しく快適な日常を過ごすことができるよう精いっぱい努力致しますので、よろしくお願ひいたします。

私の名前は、相田美佐江と言います。支援員の経験はありませんが、福祉の仕事をし

たいと思い、今回縁があり、はまぎく荘で働くことになりました。人との出会いを大事にして、利用者の方が笑顔で生活出来る様に務めたいです。頑張ります。

シーズへ異動 中井 昭一(支援係長)

はまぎく荘勤務二十七年で引退しました。お世話になりました。新天地での一層のご活躍を祈念いたします。

退職職員

- 津田 誠也(支援員)
- 古川 真侑(支援員)
- 草野 千里(支援員)
- 佐藤 茉夏(支援員)

編集後記

今年例年より少し早く桜が咲いていたと思います。早めの春の訪れを感じました。

寒い日より暖かい日が続き過ごしやすいく感じます。今年も何かがあるのか。ワクワクとドキドキを胸に元気に一日一日を楽しんで過ごしていきたいですね。

広報誌「はまぎく」11113号をどうぞご覧ください。